※令和４年度以降入学生用

学校番号	1204

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	書Ⅰ（光村図書）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小学校、中学校の書写の授業で学んだことを発展させて、芸術科書道では用具用材の違いによる表現の違い等を学ぶ。
・基本的な筆の持ち方から入り、筆の弾力を使いこなし、自分らしい文字を書くことが出来るようになることをめざす。
・身近に飾れる作品を作ることで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てる。

2　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。

(2) 書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。

(3) 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。 ・書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け、表している。	・書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化のいみやかちを考え、書の美を味わい捉えたりしている。	・主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	オリエンテーション	・書くときの姿勢 ・書写で学習したこと	a:国語科書写での基礎・基本を踏まえ表現を工夫している。 b:姿勢や執筆法の基本を身に付け表現している。 c:書写と書道の類似点・相違点、正式書体・略式書体について興味を持ち、今後の学習に意欲的に取り組もうとしている。	作品	プリント	振り返りプリント 観察
	漢字の書	【文字の造形を学ぶ】（楷書） 唐の四大家に学ぶ楷書の基本 孔子廟堂碑 九成宮醴泉銘 雁塔聖教序 顔氏家廟碑 楷書創作 鑑賞	a:文字と書の伝統と文化、漢字の書体の変遷、各書体に特有の字形や線質の特徴について理解する。 b:漢字の古典の価値と根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉える。 c:漢字の書体の変遷や、その背景にある歴史や文化に関心をもち、主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	作品	プリント	振り返りプリント 観察
2学期	篆刻	【消しゴム印による姓名印作り】 名前の１文字白分印の制作	a:印稿づくりにおいて小筆の弾力を活かし、硬筆等にも応用できる技法を身に付け表している。 b:篆刻における分間布白を理解し、表現を工夫している。 c:名前の各書体調べを通じて書体の変遷について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。	作品	プリント	振り返りプリント 観察
	漢字の書	【文字の造形を学ぶ】（行書） 蘭亭序 王羲之・蘭亭序とは 受け継がれてきた蘭亭序 風信帖 空海・風信帖とは 行書創作	a:行書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解する。 a:線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、各書体に特有の字形や線質の特徴を理解する。 b:行書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。 b:行書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉える。 c: 幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	作品	プリント	振り返りプリント 観察

※令和４年度以降入学生用

3 学 期	漢字仮名交じりの書	【漢字仮名交じりの書とは】 心に響く言葉を書く 表現の幅を広げる （様々な構成） 創作する 好きな言葉を創作	a:線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、漢字仮名交じり文の成立について理解している。目的や用途に即した効果的な表現、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身につけている。 b:漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫している。 c:主体的に漢字仮名交じりの書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。	作品	プリント	振り返りプリント 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度